



令和6年度入学用

[小中高一貫教育校]

東京都立立川国際中等教育学校
附属小学校

TOKYO METROPOLITAN TACHIKAWA KOKUSAI P-12 SCHOOL
SCHOOL GUIDE



挑戦者となって共に歴史と伝統を



校長 市村 裕子

これから しょうがくせいになる みなさん こんにちは。
わたしたちの がっこうには いちねんせいと にねんせい
います。なかまを たいせつに がっこうせいかつを おくって
います。わたしたちは ひとつの ちいむです。

みんな いっしょに がっこうを もっと すてきな ばしょに
するために いろいろな ことに ちょうせんして います。

それは じめんを しっかりと ふみしめて わたしたちの
あしあとを つけていく ぼうけんです。

みなさんも はるになったら「ちいむ たちこく」のなかまに なって
いっしょに わくわくする ぼうけんに しましょ。

ごうるは みなさんと みなさんの まわりのひとの しあわせです。

みなさんにおあいする ひを たのしみに まって います。



私たちの教育の究極の目的は「自立」です。

下の図に示している教育理念は、本校の存在意義であり、目指す教育の理想です。その理想を達成するために必要な教育内容や教育方法を、教育理念と生徒の将来像から俯瞰し、逆向き設計でデザインしています。

私たちは開校後も学校を創っていきます。私たちが創るのは、「小学校」ではなく、「12年間一貫教育校における小学校段階」です。本校についてご説明する時は、12年後にあるべき姿を見通した視点にたってお話します。

本校では、知育、徳育、体育の調和の取れた育成を目指し、本校で学ぶお子様が人格を陶冶し、自立した学習者となって、勇気をもって自ら道を切り拓き、より広い世界へ羽ばたいてほしいと考えています。本校で身に付けた資質・能力を思う存分に発揮して、卒業後も学び続け、よりよい世界の構築に貢献してほしいと期待しています。私たちが常に学び、全力でお子様と関わります。

私たちの目指す学校

教育理念

次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばせるとともに豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。

生徒の将来像(卒業後の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材

卒業時(12年後)の生徒像

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人

教育方針 「理念を叶える4本の柱と8つの力」

「思考力」と「行動力」

自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。

「語学力」と「言語能力」

世界で通用する語学力を育み、それを支える言語能力を向上させる。

「自己理解力」と「貢献力」

日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。

「協働力」と「革新力」

異学年との学習活動や地域連携、国際交流を通じて、他者を思いやり、協働して新しい価値を創造する力を育てる。

私たちの学校は歴史と伝統をつくっていく学校です。

私たちの学校は、児童・生徒と保護者の方と共に「学びの共同体(Professional Learning Community: PLC)」となって、歴史と伝統を一緒につくっていく学校であり、お子様も保護者の方も私たちが開拓者です。私たちの学校には、理想形、完成形を目指し、チーム力を高め、創造し、共に挑戦する感動と喜びがあります。それは、かけがえのない貴重な経験です。1期生、2期生、私たち教職員と共に前向きに、楽しみながら取り組んでいただけるお子様と保護者の方をお待ちしています。ようこそ、「チーム立国」へ！

令和5年 市村裕子

P-12 GRAND DESIGN

— 小中高一貫教育のグランドデザイン(教育の全体構想) —

Be brave. Reach for the world.

目指すべき生徒像(卒業20年後の生徒の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材



目指すべき生徒像(12年後の生徒の姿)

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人



目指すべき児童像(6年後の児童の姿)

基礎的・基本的な言語能力や論理的思考力、探究的に学ぶ力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、世界を視野に入れ、社会の平和と発展に寄与しようと、地域社会の活動に参画する人



- 国語
- 社会
- 算数
- 理科
- 生活
- 音楽
- 図画工作
- 家庭
- 体育
- 英語
- 特別の教科
道徳
- 学習の時間
- 総合的な
学習の時間
- 特別活動

各教科等における目指す児童像

探究的な学び

3 学びに向かう力、人間性等

- ①思考のプロセスを客観的に捉える力(メタ認知)
- ②多様な人々と協働する力
- ③人や社会に貢献する行動力
- ④自立した学習者となるための自己管理能力

語学力とそれを支える言語能力

1 知識及び技能

- ①教科・領域における幅広い知識・技能
- ②概念の理解と技能の熟達を支える言語能力
- ③論理的に考えるための方法

学びを实践する学校行事

2 思考力、判断力、表現力等

- ①批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、考える力
- ②知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③日本語と英語を活用して発信する力

育成すべき 資質・能力

多様な外部機関との連携

グローバルに考える キャリア教育・進路指導

自立を促す生活指導

グローバル:地球規模の視野と地域の視点で考え行動すること



SCHOOL IDENTITY



附属小学校

～校章～

本校の設置及び校名の由来に基づき、都立立川国際中等教育学校の校章を基調としています。同校の校章は、母体校である都立北多摩高等学校の校章の基本的デザインを継承し、地球を、鳥の羽にかたどった月桂樹で囲み、学校名のイニシャルであるT(立川)とK(国際)を配してお



中等教育学校

り、教育目標に基づき、国際社会に貢献できるリーダーとして世界に羽ばたくことを期したものです。附属小学校は、この校章に込められた精神と基本デザインを引き継ぎ、更に、公立としては全国初となる12年間一貫教育校生としての自覚と誇りをもてるよう、小中高一貫教育を表すP-12を加えました。

カラーの校章については、本校の教育理念をイメージする青と緑を基調としています。青は、国際社会で活躍する人材となるべく世界に向けて飛び立つ際の澄み切った青空を、緑は、そういった人材となるために知・徳・体を十分に耕して強く芽吹くその新芽を、それぞれ表しています。

なお、小学校という発達段階を踏まえて、月桂樹のボリュームを中等教育学校と変えています。中等教育学校進学後には、より一層豊かな葉を付けて、大空へ伸びていくという可能性とそうやってほしいという願いを込めています。

校歌

作詞・作曲 北多摩高等学校
作詞校閲 下總統一

一 紫匂ふ武蔵野に
富士の高嶺を仰ぎつつ
師弟の道もうるはしく
この学びやにつどひきて
知徳を磨きわざをねる
われらの幸ぞたぐひなき

二 朝な夕なに多摩川の
清き流れをのりとして
勉学友愛勤勞の
をしへ守りて励み合ひ
まことを求めて一すじに
平和の道を進まん

附属小学校の歌

作詩・作曲 青島広志

武蔵野台地の春 わたしの季節も春
わたしたちの過ぐす十二年
そのはじめの六年
立国には大勢の先生や友達がいる
そう みんなで未来をひらいてく
わたしたちのための未来を
まぶしい陽の光は 一日の始まりだ
多摩川や駅前のざわめきが
一日中間こえる
土の上の足あとは私の生きてきたしるし
さあ みんなで確実な一歩を
立国の庭から踏み出そう
世界は立国から あなたも立国から
広い地球にはばたいてゆく
学んできたことばで
わかり合えることもあれば
わかり合えないこともある
でも その日が来るのを信じよう
ほほえみのあふれるそのときを
世界へのとびら

東京都立立川国際中等教育学校
附属小学校

～制服～

本校の教育理念をイメージする紺と緑を基調
いきいきと活動できるデザイン

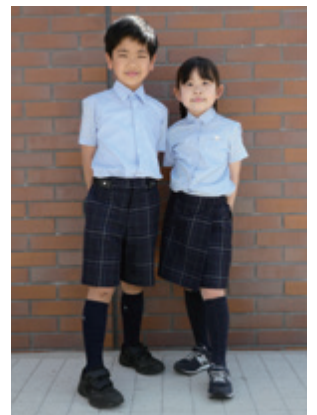
小中高一貫教育校としての自信と誇りをもち
清潔な身だしなみを心掛け、正しい着こなしをします。

〈基準となる服装〉

制帽 ジャケット ハーフパンツ
ラップキュロットスカート
ネクタイ 長袖シャツ

〈夏季〉

制帽 ハーフパンツ
ラップキュロットスカート
半袖シャツ
もしくは指定の半袖ポロシャツ



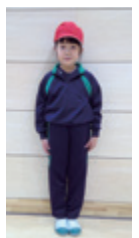
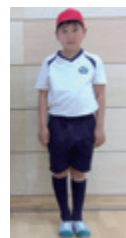
～ランドセル～

- 色：黒色・無地
 - 「キューブ型」又は「学習院型」
- ※A4フラットファイル対応サイズ
ランドセルはご家庭でご準備いただきます。
透明の校章入りランドセルカバーをかけます。
その他ウェブサイトでご確認ください。



～体育着～

- 本校指定の白色半袖シャツ、
 - 紺色のハーフパンツ、
- 指定する仕様の紅白帽
※防寒のために指定したジャージ
上下を着用することができます。
(10月～3月)



研究指定校

教育課程特例校(文部科学省)

小学校第1学年から「英語科」を設置し、英語の授業を週4時間実施します。週4時間の英語の授業の内1時間は、「Eタイム」として、週3回、朝15分に分割して行います。

外国人指導者と共に、児童の発達段階に応じて、段階的に英語による聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り・発表〕、書くことの基礎から学びます。テキストは、東京都教育委員会が本校用に作成したもののほか、文部科学省や東京都教育委員会の教材、教科書、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。



▲東京都教育委員会作成テキスト(1年生用)

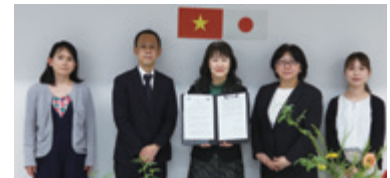
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
英語科の標準授業時数	136	140	140	140	140	140

令和5年度「海外学校間交流推進校」(東京都教育委員会)

グローバル人材育成の一層の促進を図るため、姉妹校交流をはじめとした海外の小学校等との交流活動を積極的に推進していきます。

〔姉妹校締結(令和5年度)予定校〕

- ・オーストラリア・クィーンズランド州立レッドリンチカレッジ (Redlynch State College) 校
- ・ベトナム・ハノイ市・グエンシユースクール (Nguyen Sieu School)
令和5年4月、姉妹校締結
- ・アジア圏(台湾、タイ、スリランカ予定)の小学校と姉妹校又はフレンドシップ校の決定、締結予定



Nguyen Sieu Schoolとの姉妹校締結

令和5年度「体育健康教育推進校」(東京都教育委員会)

本校は、知育、徳育、体育を調和よく育成する学校を目指しています。あらゆる活動の基本となる体力や健康づくりは、本校の教育の根幹を支えるものであることから、健康的かつ活発に学校生活を送るために必要となる体力向上及び健康的な学校生活を送るための基盤づくりに取り組みます。柔道の要素を取り入れた様々な動きや力試しの動きなどを通じて体幹を鍛え、児童の体力の向上を図ります。



東京都柔道連盟との連携

令和5年度安全教育推進校(東京都教育委員会)

本校は、児童に危険を予測し回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するため、家庭や地域、関係機関と連携し、問題解決的な安全教育を推進します。

「災害安全」については、大震災を想定した児童の登下校時を想定した教員のシミュレーション研修を実施するとともに、専門家を招聘した災害安全推進に係る講演会(保護者対象)を実施し、地震発生時の行動、地震直後の行動、地震後の行動、避難の判断等を学校と家庭で共有する取組を行います。

令和5年度「豊かな心を育む体験活動の充実事業」実施校(東京都教育委員会)

東京都教育委員会は、児童・生徒が自らの感覚や行為により実感、体感する多様な体験機会を通じて、児童・生徒の積極性や協調性、コミュニケーション力、他者理解、興味・関心、感性など、豊かな心の育みにつながるよう、学校における体験活動の充実を図るため、令和5年度に「豊かな心を育む体験活動の充実事業」を実施します。本校は、リベラルアーツを実施する学校であり、身近なものをテーマに科学の不思議な現象を楽しく学べる体験を行います。

教育課程

概要

小学校、中学校、高等学校段階をそれぞれ円滑に接続し、発展させるために教育内容の節目を工夫して論理的思考力を高めるとともに、異学年や異文化経験者等と交流し、国内外で様々な体験活動を行います。
教育課程は変更になる場合があります。

【一貫性の考え方】12年間を3フェーズでつないで「目指す生徒像」へと成長します。

第1フェーズ 第1学年～第8学年

耕す Cultivate



第2フェーズ 第9・10学年

芽吹く Sprout



第3フェーズ 第11・12学年

花開く Bloom



目指す生徒像

▲第7学年から、新たな仲間が加わり、1学年160名のチームになります。「芽吹き」、「花開く」ために、この「耕す」期間が重要です。

(小学校段階) 第1学年～第6学年	<p>～基礎学力の定着の徹底と 個々の児童の特性に応じた指導～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①論理的に思考する力 ②身近な事柄について、外国語で簡単なやり取りができる力 ③身近な人々と協働することができる力 ④体験から課題を見いだす力 	<p>育てたい力</p>	<p>～幅広い教養を活用し、生徒自らが将来に向けて個性と能力を発揮できる指導～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①批判的に吟味する力 ②幅広い話題について、外国語で明確かつ的確に考えを表現できる力 ③多様な人々と協働することができる力 ④体験を踏まえて省察する力 	(中学校・高等学校段階) 第7学年～第12学年
----------------------	--	--------------	--	----------------------------

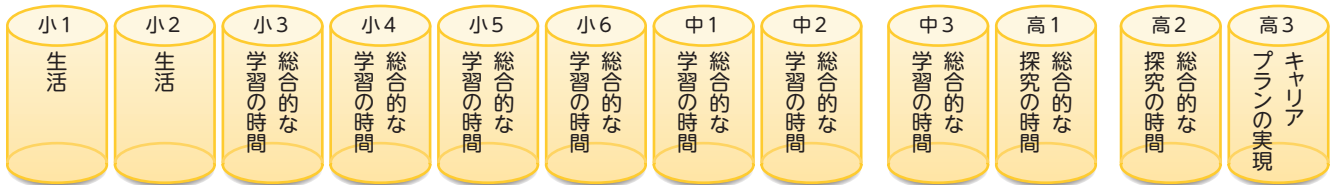
3つの特色

【特色1】探究的な学び

考える方法を知り、根拠に基づいて思考する力の向上
教科等における探究的な学びと独自の探究プログラムの実施

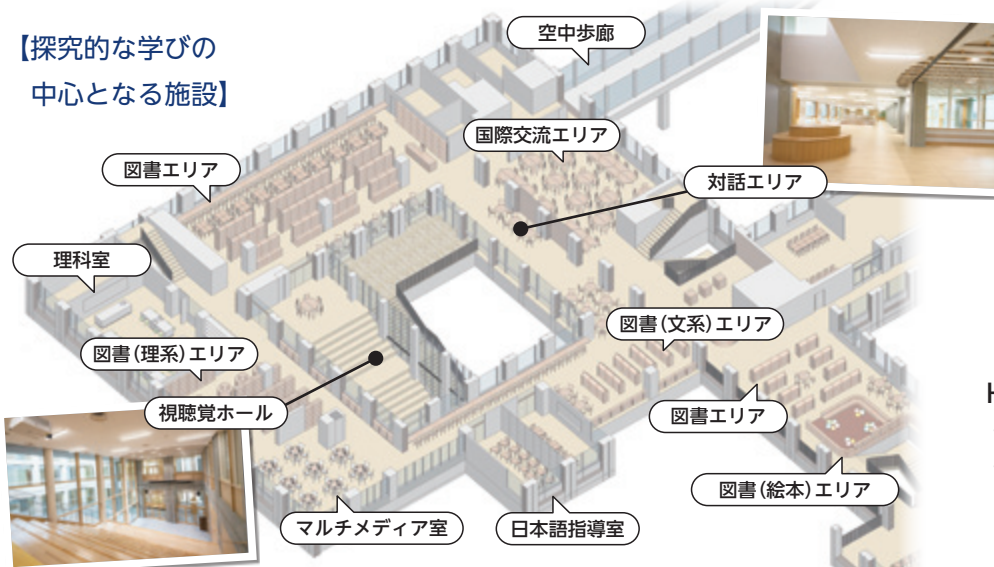


【探究プログラム:IBL探究12】 IBL:探究学習 (Inquiry-Based Learning)



小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
・体験から「なぜ」を発見 →リサーチクエスト(RQ)の基礎作り			・RQの基礎作り、検討、設定 ・「自然科学」「人文社会」の両分野について探究的な学びを実践 →探究的な学びのプロセスの体験			・人間の在り方生き方を探究 ・国内の課題を探究 ・世界の課題を探究 →LAPで実践		・国内外で発信 ・進路実現に活用			
「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等の学び(初級→中級→上級)								日本語・英語で論文作成			

【探究的な学びの中心となる施設】



LAP:
リーダーシップ・アクションプログラム
(Leadership Action Program)
全員が海外で研究、インターンシップ、ボランティア等の活動に参加します(国内研修と成果発表を含めて3か月間程度実施予定)。

Heart of School ラーニング・commons

- ・異学年での交流活動の拠点
- ・図書室、パソコン室、視聴覚室、自習室等の機能を一体化させた施設

※イラストはイメージです。

【特色1】探究的な学び(小学校段階)

「探究の技」の整理・蓄積・更新・活用

各教科等の学びにおいて身に付けた見方・考え方を「探究の技」とし価値付け
→整理・蓄積・活用・更新

「探究の技」を活用し、自ら見いだした課題を解決し、探究的な学びを実践



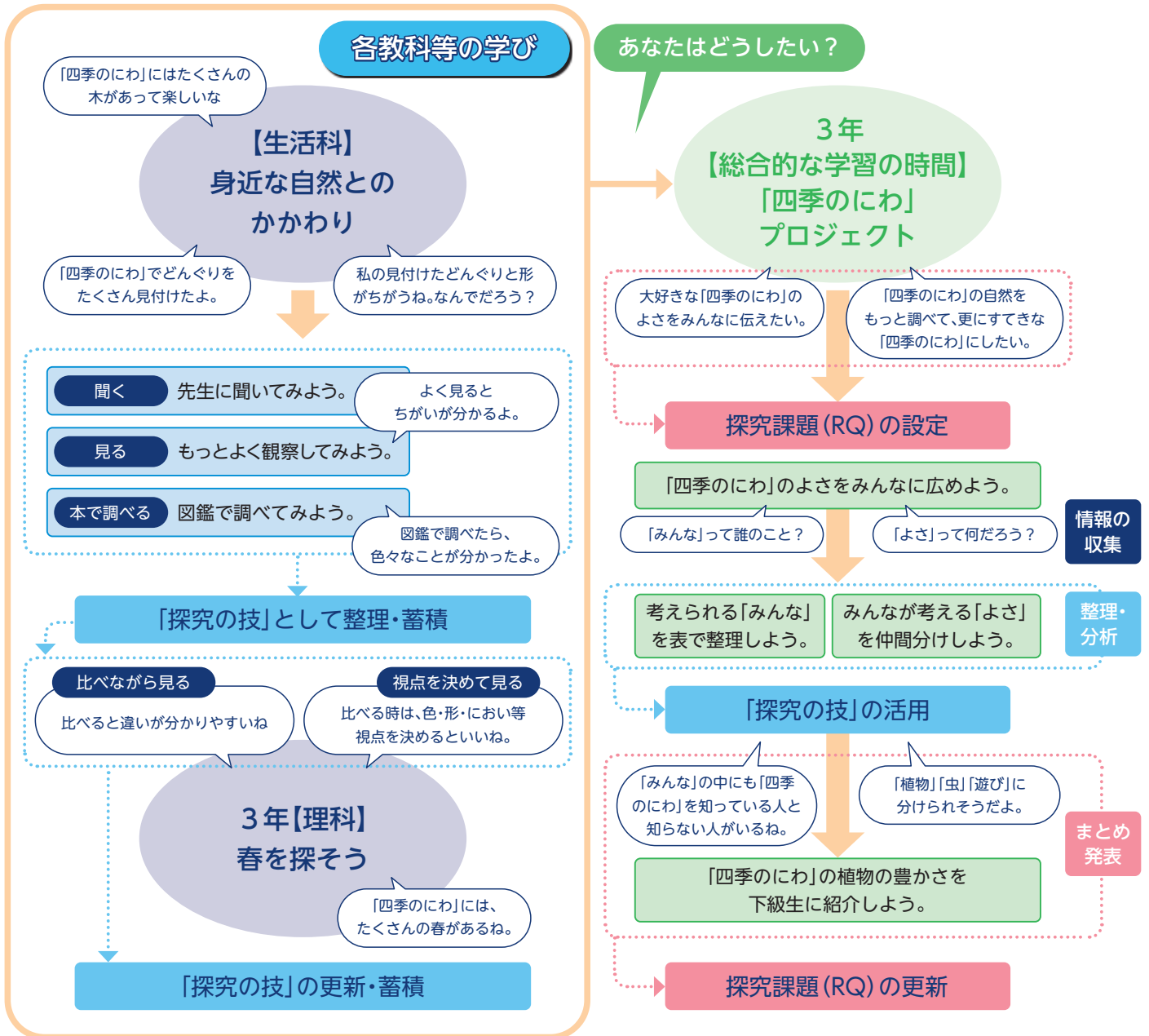
各教科等

総合的な学習の時間

探究の技(例)

考える技	よく見る	比べる	つなげる	なぜ?	文にする…
調べる技	よく見る	よく読む	分ける	さがす	実際に行く…
表現する技	つなげる	写真や文	ことば	式や絵	作る…

探究的な学びの例 【各教科等の学習→3年総合的な学習の時間 「四季のにわプロジェクト(例)」】



【特色 2】語学力とそれを支える言語能力

世界で通用する語学力とそれを支える言語能力の向上



- 第1学年から週4時間の英語の授業を実施、義務教育の9年間で通常の学校より1000時間以上多く外国語を学習
- 英語を実践する機会や第二外国語にふれる機会として、東京都教育委員会のプログラムを活用

プログラム例

次世代リーダー育成道場

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援するプログラム。このプログラムをとおして、世界を舞台に活躍する国際感覚豊かでたくましい若者を東京から輩出していくことを目的としている。



東京体験スクール

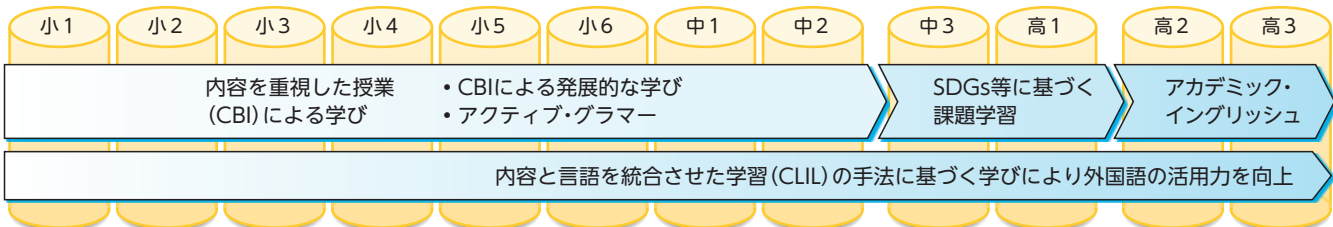
より多くの都立高等学校等において、在籍する生徒が日本にいながら国際交流機会を得られ、国際理解を深めることができるよう、海外からの留学生の受入拡大を推進している。

※「Tokyo Portal for International Education <国際教育・東京ポータル>」へのリンクです。「留学生の受入拡大」の頁をご覧ください。



※令和5年度現在のものであり、変更になる場合があります。

【語学力(外国語教育)】



小学校段階						中学校・高等学校段階							
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
短時間学習 (Eタイム) ※全校種を通じて少人数や習熟度別の指導を工夫													
英語教育 <ul style="list-style-type: none"> ・専科教員や外国人指導者、JETプログラムを活用した授業 ・聞く・話すなど体感する授業から、読み・書きを取り入れた授業へ ・ICTの活用による海外姉妹校との交流 						<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるプレゼンテーション 		<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるディベートや論文の作成 					
多言語教育「マルチリンガルスタディⅠ」出会う <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動等で様々な言語と出会い、言語のおもしろさにふれる。 ・自分とは異なる人々、暮らしや文化があることを知る。 ・児童会やクラブ活動で学びの場を広げる。 						多言語教育「マルチリンガルスタディⅡ」深める <ul style="list-style-type: none"> ・マルチリンガルスタディⅠの学びを参考に、より知りたい言語を第二外国語として選択し、授業で深める。 ・様々な機会を捉えて実際に活用してみる。 							
《到達目標の目安》						英検3級レベル		英検準2級レベル		英検2級レベル		英検準1級レベル	
第2学年からはケンブリッジ英検を実施 東京外国語大学と英語の成果検証を実施													

【言語能力】

小学校段階						中学校・高等学校段階							
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
<ul style="list-style-type: none"> ・国語や生活を中心に主として体験と言葉をつなぐ活動 ・国語や算数、理科を中心に主として論理的に文章を読んだり考えたりする活動 						<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数、理科を中心に主として多面的に追究する 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査、文献調査基礎 ・特別講師による指導、助言 ・理数分野等における発展的学習 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査、文献調査発展 ・特別講師による指導、助言 ・理数分野、人文社会分野等における発展的学習 ・探究プログラムの企画、実行 		<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の発信 (日本語・英語) ・論文作成 (日本語・英語) 	

グローバルマインドセット・カリキュラム

英語教育、マルチリンガルスタディ I・II、LAPの3つを相互に関連付け、グローバル人材としての素地を育成

	小学校段階						中学校・高等学校段階					
	第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
英語教育	内容を重視した授業(CBI)による学び 内容と言語を統合させたCLIL的な学習						アクティブ・グラマー CLIL		SDGs		アカデミック・ イングリッシュ	
多言語教育	様々な言語と出会い、様々な人々、暮らしや 文化があることを知る。						学びたい言語を 選び、深める。		実際に活用してみる。			
LAP	IBL探究12(生活→総合的な学習の時間→総合的な探究の時間)の内のLAP											

〈英語教育(小学校段階)について〉

▼表紙



CLIL的な学習ができるよう他教科等との関連を意識したテキスト(1年生)

- 低学年では、Journey(東京都教育委員会が本校用に作成したテキスト)を使用して、外国人指導者と共に「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の基礎から学びます。
 - ・初めは「聞くこと」を重視します。
 - ・音声に十分に慣れ親しんで「話すこと[やり取り]」に取り組みます。各ユニットの最後に「話すこと[発表]」活動を行います。
 - ・「書くこと」は徐々に学びます。
- 2学級を4展開して少人数の指導をします。
 - ・標準クラスと発展クラスの習熟度別2コースを設定します(2年生からは応用クラスも設定)。
 - ・Journeyの他に欧米の実践を参考にして厳選した洋書も活用します(洋書の使用割合はクラスによって異なります)。
 - ・クラス分けは、授業時の様子や定期考査の結果をもとに行います。
- 週4時間の英語の授業の内1時間は、「Eタイム」として週3回、朝15分に分割して行います。
 - ・テキストを活用して復習(補充)や予習をします。
 - ・フォニックス(*)を学習します。
 - ※「英語の綴りと発音の規則性を学び、英語を正しく読めるようになるための学習方法」
 - ・文部科学省や東京都教育委員会の教材、教科書、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。

〈多言語教育「マルチリンガルスタディ I」出会う について〉

中学校・高等学校段階で、自分の将来の生き方を視野に入れた言語選択や、言語や国に対する深い興味・関心に基づいた、積極的・主体的な言語選択につながるようにします。

東京外国語大学や中央大学等と連携して、月ごとに6言語を学習(予定)

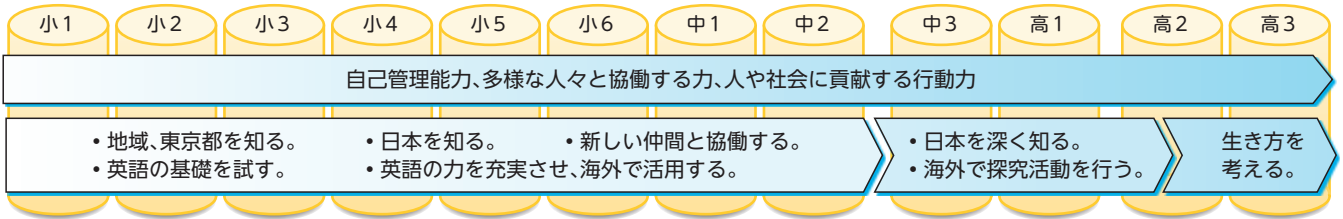
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	韓国語		中国語			ドイツ語	スペイン語	フランス語			アラビア語	
1年生	【体験重視】 遊び・スポーツ・(歌・ダンス)											
2年生	【体験重視】 食生活 ※給食とコラボレーション											
3年生	【体験重視】 衣服(民族衣装)・年中行事											
4年生	学校生活											
5年生	地理(自然)											
6年生	地理(産業)											



学年ごとに、教科等に関連したテーマを設定して学習します。

- 月1、2時間程度実施します。毎時間、挨拶を含み、国際理解とともにテーマに関連する音声言語と文字言語に出会います。
- 年1時間(8月か1月)、全校でその他の言語にふれあう機会を創出します。その際はテーマ(地域等)を決めて言語を選択し、必要に応じて「チーム立国人材バンク」(*)に登録した保護者の方にもご協力いただきます。
- ※様々な教育活動に保護者の方のキャリアを生かして、教育活動の充実を図るために設置する組織。

【特色3】学びを実践する学校行事

グランドデザインに基づく
学校行事の充実



小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
スピーチコンテスト(日本語・英語) / プレゼンテーション大会(日本語・英語) / ディベート大会(日本語・英語)											
日本の伝統・文化教室(芸術理解教室・芸術鑑賞教室、体験、海外姉妹校への紹介) 異文化間交流 地域の学校との継続的交流 海外留学生受入											
・入学式 ・生活科見学	・生活科見学 ・TGG体験	・立川市内見学 ・西多摩宿泊体験	・島しょ宿泊体験 ・社会科見学	・農業体験(田植え・稲刈り) ・林間学校見学 ・社会科見学 ・国内異文化体験	・海外姉妹校訪問 ・社会科見学 ・救命講習 ・百人一首大会 ・立志式	・入学式 ・チーム立国ゼミ ・TGG体験	・校外学習 ・英語合宿 ・職場体験 ・救命講習 ・百人一首大会	・校外学習 ・国内研修旅行 ・前期課程修了式	・海外調査 ・研究(LAP) ・救命講習	・海外研修旅行	・卒業式
    											
《小中高全体行事》 体育祭(1学期) 文化祭(2学期) 音楽祭(3学期) 定期考査(各学期)											

グランドデザイン(2頁)「育成すべき資質・能力」との関係

生活科見学 / 社会科見学、立川市内見学、農業体験(田植え・稲刈り)、百人一首大会	2②	チーム立国ゼミ、校外学習	3②
西多摩宿泊体験、島しょ宿泊体験、国内研修旅行、体育祭、文化祭、合唱祭	2②, 3②	TGG体験、国内異文化体験(宿泊)、海外姉妹校訪問、英語合宿、海外研修旅行	2③, 3②
芸術理解教室(小学校段階) ➡芸術鑑賞教室(中学校・高等学校段階)	1① ➡2②	スピーチコンテスト / プレゼンテーション大会 / ディベート大会	2①③
救命講習	3③	職場体験	3②③
林間学校	3④	LAP	2②③, 3②③



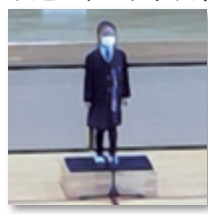
研修施設例

TGG: TOKYO GLOBAL GATEWAY

東京都教育委員会が開設した施設。児童・生徒が、外国人との会話や外国の文化等にふれる機会を増やし、英語を積極的に使う態度を身に付けられるよう、体験的で実践的な学習を行う場を提供。

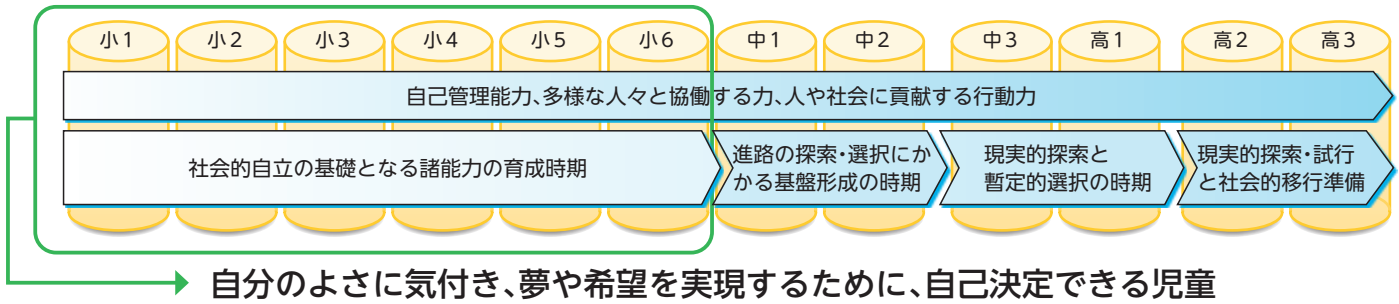


【1年生の主な行事予定】

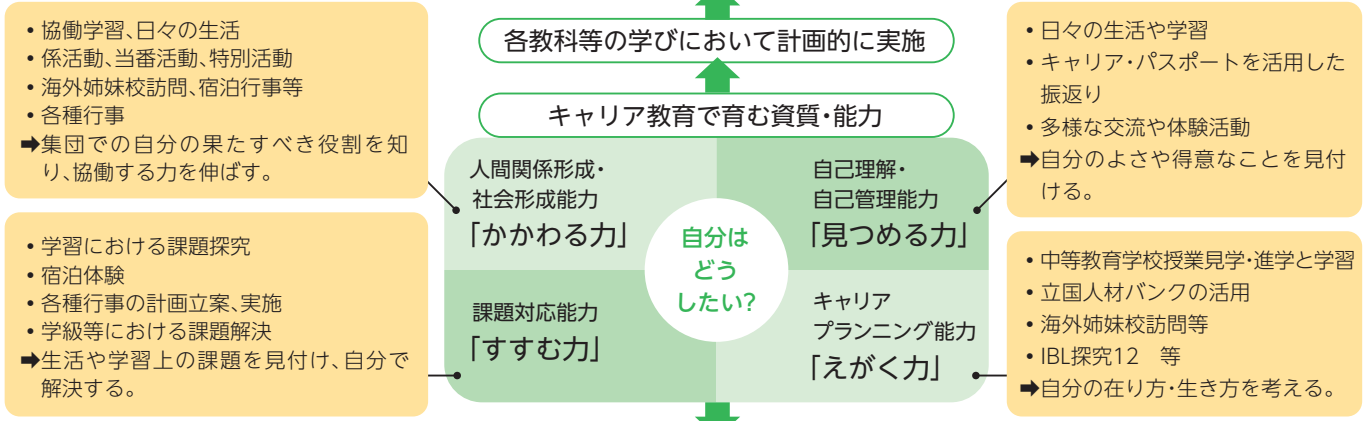
1学期	2学期	3学期
入学式 消防写生会 交通安全教室 セーフティ教室 期末考査 終業式 	始業式 生活科見学 俳句教室 文化祭(学習発表会) 	始業式 芸術理解教室 音楽祭(合唱祭) 席書会 幼稚園交流体験 学年末考査 修了式 

「キャリア教育」

- 12年後、そして、卒業20年後を見据えたキャリア教育の実施
- 社会の一員として、どのように社会に関わっていききたいか、同時に、どのように関わっていくべきかという価値観を形成



→ 自分のよさに気づき、夢や希望を実現するために、自己決定できる児童



キャリア・パスポートに記録・蓄積 → 12年間のキャリア・パスポートを作成 → 生き方の指針に

「プログラミング教育」

- 教科目標を達成するためのプラグド、アンプラグドのプログラミング学習の実施
- 基礎的なPC技能の向上を目指したPCスキルアップタイムの継続的な実施

※プログラミング的思考
 ①目標をもつ。流れを見通す。②動きに分ける。動きを集める。③置き換える。④組み合わせる。⑤改善する。⑥考える。表現する。

プログラミング的思考の育成】 各教科等の内容を指導する中で実施

	低学年	中学年	高学年
重点項目	①、②、④、⑥	①、②、④、⑤、⑥	①、③、④、⑤、⑥
学習内容(例) P: プラグド UP: アンプラグド	特別活動「おそうじ名人になろう」(UP) 算数「ひき算のひっ算」(UP) 音楽「はくを かんじて リズムをうとう」(UP) 生活科「あそびの たつじん あつまれ」(P)	理科「風やゴムのはたらき」(UP) 算数「かけ算の筆算」(UP)「円と球」(P) 体育「跳び箱運動」(UP) 音楽「いろいろな歌の響きを感じ取ろう」(P)	理科「電磁石の性質」(P) 「電気の性質とその利用」(P) 算数「正多角形」(P) 社会「自動車工業のさかんな地域」(UP)
使用教材(例)	True True・レゴブロック We.do、SPIKE・MESH・ルビイの冒険 等 ※その他、プログラミングソフト等も活用予定		

【基礎的なICT技能の向上・情報モラル】 教科等の学習や朝の時間等を活用して継続的に実施

	低学年	中学年	高学年
情報モラル	・タブレットを使用する際の約束やきまり ・IDやPWの取扱い ・インターネットの利用環境	・相手への影響 ・情報の発信・交流する際のマナーやルール ・不適切な情報への対処・認証の重要性の理解	・他人や社会への影響・情報の権利・尊重 ・ルールやマナーの社会的意味の理解 ・不正使用や不正アクセスへの理解
基礎的な技能	・基本的操作(起動・終了、ログイン・ログオフ等) ・タッチペン・フリック入力等による文字入力 ・ファイルの保存・呼び出し	・キーボードなどによる正しい文字入力(ローマ字入力) ・電子ファイルの検索	・キーボードなどによる文字の正確な入力 ・電子ファイルのフォルダ管理

【実際の取組】 ★PCスキルアップタイム★タイピングの練習

★プログラミング★「どうしたら正確にゴールまで案内できるかな?」(True True使用)



「小学校の生活」

【時間割(例)】

校時	月	火	水	木	金	土	
8:15~8:20	朝の会 (健康観察等)						
8:20~8:35	朝会	Eタイム	Eタイム	たちこく タイム	Eタイム	—	
8:40~9:25	1	国語	英語	英語	国語	英語	国語
9:35~10:20	2	体育	生活	音楽	生活	体育	国語
10:30~11:15	3	道徳	国語	国語	体育	国語	生活
11:25~12:10	4	音楽	算数	算数	算数	算数	生活
12:15~13:30	給食、掃除、昼休み						
13:35~14:20	5	国語	図工	学活	国語	生活	
14:25~15:10	6		図工				
15:15~15:45	帰りの会 (個人発表活動等)						

※ 5時間授業の場合は、14:30~15:00頃に下校します。

ある日の給食 (義務教育段階のみ)



〈和食〉

- ・てまり寿司
- ・けんちん汁
- ・エビフライ
- ・ミニトマト
- ・デコポン
- ・牛乳



栄養教諭と調理員さんが作る、
おいしい自校給食です。

附属小学校の1日

【登校】

始業の
5分前までに
登校します。

【Eタイム】

週3回
15分間ずつの
英語の授業を
します。

【1校時】

1年生から
英語科の授業が
あります。

【2校時】

様々な校内施設を
活用して
楽しく充実した
学習をします。

【3校時】

ICT機器を学習に
積極的に活用して
います。

【4校時】

算数の学習は、
2学級3展開
しています。

8:10

8:20

8:40

9:35

10:30

11:25



おはようございます♪



おーい、いくよー!!



みんなも調べてみよう!



Who is he?



Good job!!



〈洋食〉

- 森のピラフ
- ポテトグラタン
- フレンチサラダ
- ブロッコリースープ
- ヨーグルト



〈世界の給食〉

- ～インドネシア料理～
- ナシゴレン
 - うずら卵のケチャップ煮
 - ウラブ
 - シャルバ



【通学のきまり】

- 交通ルール、マナーを守り、安全な登下校に努めます。
- 公共の交通機関を使い、安全上の観点から立川駅や国立駅からのバス利用を原則とします。(令和5年度現在)
 - ア 立川駅北口⇒立川国際中等教育学校(バス)
 - イ 学校まで1km圏内のバス停利用
 - ①高松町二丁目 ②立川六小 ③下弁天
 - ④北第一公園西 ⑤西町一丁目北
 - ウ 自宅、西国立駅から徒歩(学校から1km圏内)
- 道路の歩き方、電車・バス・モノレールのホームや停留所での待ち方、車内での過ごし方のマナーを守ります。



【給食】

ランチルームに行ってみんなで給食を食べます。今日の献立は何か？

【掃除・昼休み】

給食の後は、掃除と昼休みです。

【5校時】

5分前には教室で次の学習の準備をします。

【6校時】

1年生から6校時までの日があります。

【帰りの会】

学級で今日の1日を振り返り、明日の連絡などをします。

【下校】

安全に、まっすぐ家へ帰ります。

12:15

13:00

13:35

14:25

15:15

15:45

今日の給食の説明をします！



バランスよく食べましょうね♪



たくさん遊ぶぞ～！！



あさがおのつるでリースづくり♪



けん玉に挑戦だ！！



明日も元気に登校！

入学者決定方法 概要

下の内容は、令和4年のものです。正式な内容は、令和5年5月末に公表予定の「令和6年度 東京都立小学校入学者決定に関する実施要綱・同細目」で確認してください。

【参考】令和4年度実施済みの内容です。

項目	一般枠募集	海外帰国・在京外国人児童枠募集
1 募集人員	男女各29名	男女各6名
	男女各35名	
	※ 海外帰国・在京外国人児童の募集人員についての入学者決定の実施の結果、未充足人員があった場合は、これを加えたものを一般枠の募集人員とします。	
2 通学区域	新宿区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、練馬区 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町 ※ 指定された区域内であっても、通学に負担過重とならないかどうかを十分に検討してください。	
3 対象	平成28年4月2日から平成29年4月1日までに出生した者で、 (ア)及び(イ)に該当する者 (ア) 保護者と同居している者 (イ) 項目2の通学区域内に住所を有し、入学後も引き続き通学区域内から通学することが確実な者。または、応募資格の審査を受け、承認を得た者 ※ 1学年のみ募集します。	【共通事項】 ●平成28年4月2日から平成29年4月1日までに出生した者 ●保護者と同居している者で、出願時に項目2の通学区域内に住所を有し、入学後も引き続き通学区域内から通学することが確実な者。または、応募資格の審査を受け、承認を得た者 (1)日本国籍を有する者 【共通事項】 に加え次に該当する者 保護者に伴い連続して1年以上海外に在住している者。 または、保護者に伴い連続して1年以上海外に在住していた者で、入学日現在当該海外在住期間終了後1年以内の者 (2)外国籍を有する者 【共通事項】 に加え次に該当する者 連続して1年以上海外に在住していた者で、入国後の在日期間が入学日現在、原則として1年以内の者 ※(1)及び(2)とも1学年のみ募集します。
4 募集案内	令和4年9月18日(日)から配布 ※ 原則、指定する日に配布します。 ※ 配布場所は、都立立川国際中等教育学校です。(閉庁日を除く平日の午前9時から午後5時まで)	令和4年9月18日(日)から配布 ※ 原則、指定する日に配布します。 ※ 配布場所・日時は一般枠募集に同じですが、配布前に、本校が実施する資格確認が必要です。(項目9参照)
5 願書受付	令和4年10月18日(火)から10月25日(火)まで ※ インターネットを活用して出願し、かつ特定記録郵便により郵送したものを受け付けます(上に記載した受付期間に本校が指定する郵便局に必着(郵便局留)です)。持参は不可です。 ※ 上に記載した受付期間以降は受け付けません。	令和4年10月16日(日) 午前9時から午後3時まで 令和4年10月17日(月) 午前9時から正午まで ※ 本校への持参により受け付けます。郵送による受付は不可です。
6 出願書類	実施要綱及び募集案内参照(出願書類は、令和4年9月18日配布開始の募集案内に含まれる様式等を使用)	
7 日程	第1次(抽選)令和4年11月14日(月) 午後2時 ※ 志願者が一定数を越えた場合のみ実施します。 令和5年度入学者決定においては、男女各200名程度を第1次通過者とします。	第1次(抽選)令和4年10月20日 午後2時 ※ 志願者が一定数を越えた場合のみ実施します。 令和5年度入学者決定においては、男女各20名程度を第1次通過者とします。
	第2次(適性検査) 令和4年11月27日(日)時程は、第1次通過者に通知 ※2日間での実施を本則としますが、令和4年度については、1日で実施します。 発表 令和4年12月3日(土) 午前9時	第2次(適性検査)令和4年11月6日(日) 時程は、第1次通過者に通知 発表 令和4年11月10日(木) 午前9時
	第3次(抽選)令和4年12月3日(土) 午前11時 ※ 第2次通過者を対象に実施し、合格者及び繰上げ合格候補者を決定します。 ※ 抽選結果発表後、合格者及び繰上げ合格候補者の保護者を対象に第1回入学手続説明会を実施します。	第3次(抽選)令和4年11月10日(木) 午前11時 ※ 第2次通過者を対象に実施し、合格者を決定します。 ※ 抽選結果発表後、合格者の保護者を対象に第1回入学手続説明会を実施します。
8 検査方法	筆記、インタビュー、運動遊び ※令和5年度入学者決定においては、集団活動を実施しません。	口頭による質問、運動遊び
9 その他	●第2次(適性検査)の受検者の服装は、動きやすいものとします。	●願書配布開始以前に、指定する日(原則、8月中)に本校で実施する資格確認を必ず受けてください。資格確認には予約が必要です。詳細は、6月中に本校ウェブサイトに掲載予定です。 ●第2次(適性検査)の受検者の服装は、動きやすいものとします。

入学者決定方法

求める児童像

- 季節の移ろいを五感で直に感じて自然の偉大さに感動したり、不思議に思ったりする子供
- 日本の伝統的な行事や地域の行事にふれて人々の営みやつながりを知る子供
- 絵本などの読み物や遊びを通じて想像したり、言葉を豊かにしたりする子供
- 積み木や折り紙など身の回りの多様な素材を使って形の面白さに気が付いたり、ものを形作ったりする子供
- 発見や気付きを大切に「なぜ、どうして」と問いかける子供
- 自分なりに答えを導こうと考え、行動する子供
- 人やものを自分のことのように大切にする子供

適性検査の出題方針等

令和4年度実施においては、新型コロナウイルス感染症対策として、一般枠検査は1日で実施した。1日で実施したことに伴い、集団活動は行わず、筆記、インタビュー、運動遊びを実施した。



【検査方法及び出題の方針】

▲令和4年度実施
出題の方針

【第1日】検査時間:45分

検査方法	大問	出題方針
筆記	①	物語を聞き、情報を整理しながら記憶して理解する力をみる。
	②	自然科学や日常の物事の関係性について理解する力をみる。
	③	数量や図形について理解する力をみる。
	④	論理的に物事を考える力をみる。
	⑤	指示された内容を正しく理解し、筆記用具等を使って取り組む力をみる。

【第2日】検査時間:45分


検査方法	出題方針
集団活動	人と関わる力、貢献する力、発想する力等をみる。
インタビュー	質問に正対して答える力をみる。
運動遊び	指示された内容を正しく理解し、複数の動きを組み合わせ、体を動かす力をみる。


【適性検査問題(令和4年度実施)】 ※全9問より一部抜粋


令和4年度実施
適性検査問題 ▶




【解答用紙】問題内容を聞いて解答します。


② 


③ 

④ 

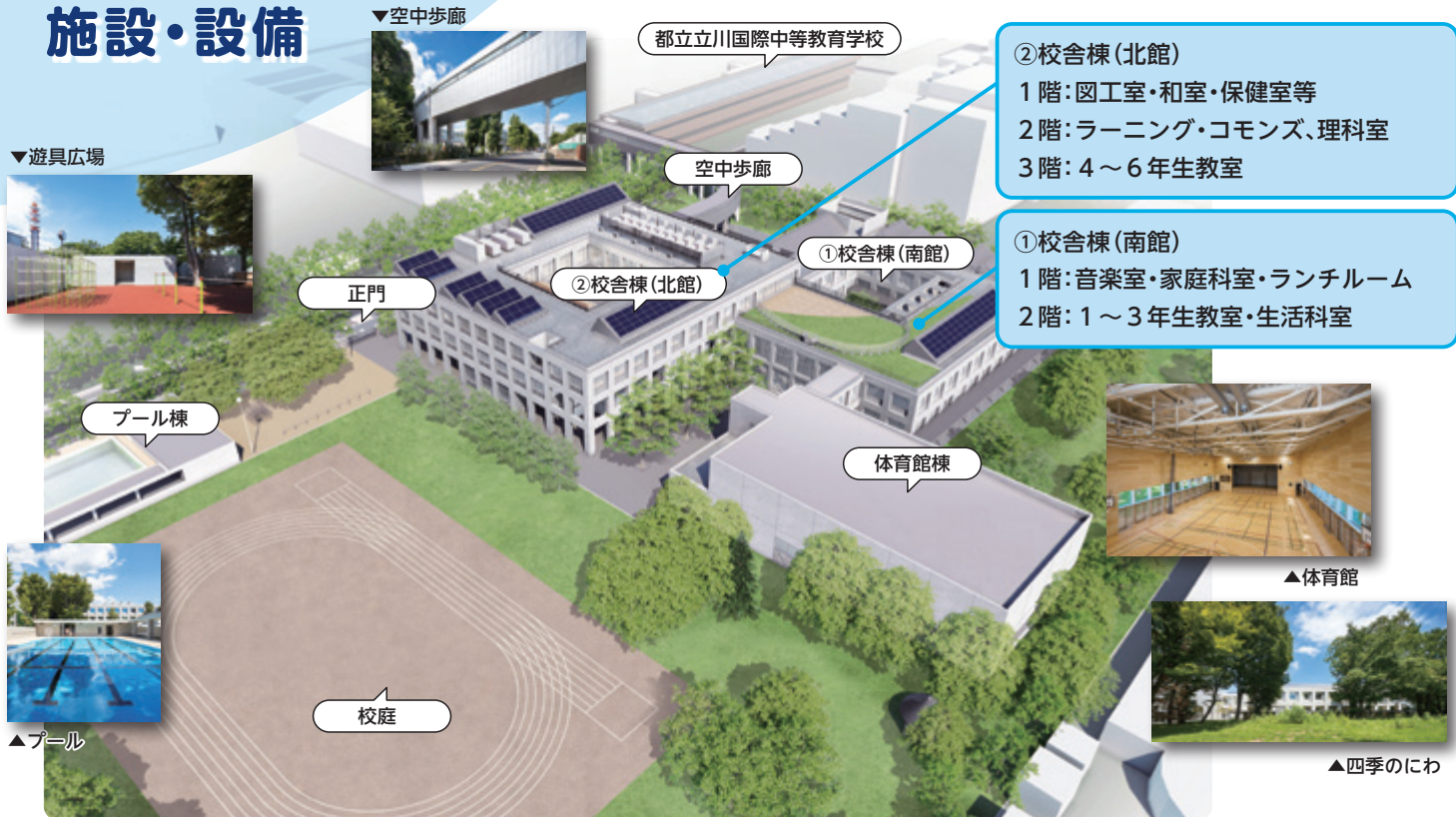
【問題内容と解答】

② 太い線で囲まれた四角の中に、笹飾りの絵があります。日本には、春、夏、秋、冬の季節があります。笹飾りを飾る季節と、同じ季節に見られるものが描かれた絵が、隣の4枚の絵の中に1枚だけあります。その絵を大きく○で囲んでください。 

③ 太い線の四角の中に、3つの模様が描かれたタオルがあります。このタオルを畳んだら、白い矢印の下のようにになりました。タオルの見えていないもう半分が、右の4枚の中に1枚だけあります。そのタオルの下の四角の中に、○を描いてください。 

④ (別紙を使い、点線に沿って折った場合、何の絵がどのように見えるかを考える練習をしてから問題に取り組む) 四角の中を見てください。練習の時と同じように、折り紙に絵が描かれています。この折り紙も、紙の裏側に同じ絵が描かれています。次に、黒い矢印の方向に、下から上へ半分に折ると、何の絵がどのように見えますか。右の四角から1つ選んで、○で囲んでください。 

施設・設備



②校舎棟(北館)
 1階: 図工室・和室・保健室等
 2階: ラーニング・commons、理科室
 3階: 4～6年生教室

①校舎棟(南館)
 1階: 音楽室・家庭科室・ランチルーム
 2階: 1～3年生教室・生活科室



〈アクセス〉
 JR立川駅北口・多摩都市モノレール立川北駅より
 12番乗場 立川バス「北町」行き
 「立川国際中等教育学校」下車 (所要時間約12分)

【諸費用】

	小学校段階	中学校・高等学校段階
入学科・授業料	なし	なし(中学校)/あり(高等学校)
宿泊行事費	約35万円	約90万円
教材費等	約30万円	約60万円
給食費	約40万円	約20万円(中学校のみ)

- 義務教育段階を対象とした就学援助は、区市町村教育委員会で行っています。詳細はお住いの区市町村にお問合せください。
- 第10学年からは、都立高等学校と同額の入学科と授業料、教科書代などがかかります。就学支援金等の制度もあります。

【制服等にかかる諸費用 ※小学校段階】(税込)

● ジャケット	15,026円	● ハーフパンツ(●)	6,468円	● 校帽	3,542円	● 体育着(上)	2,450円
長袖シャツ	2,926円	● ラップキュロットスカート(●)	13,926円	● ネクタイ	1,518円	● 体育着(下)	2,650円
半袖ポロシャツ	3,542円	● スラックス	9,647円	● リボン	1,397円	● 上履き	1,800円

● がついているものは指定品です。(※全員購入します。)その他は仕様指定や任意での購入物品です。
 ※ハーフパンツ、ラップキュロットスカートはどちらかを選択して、購入します。

【小中高一貫教育校】

東京都立立川国際中等教育学校附属小学校

〒190-0012 東京都立川市曙町3-13-15

TEL: (代表) 042-524-3903 (附属小) 042-526-7075

URL: <http://www.12ikkan-j.metro.tokyo.jp/>

